

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 263

2006年 1・2月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111



「自分のやりたいことはやるべきだ」を語る

金井篤子男女共同参画室室長

名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

新年を迎えて(福家俊朗名古屋大学生協理事長)-----	3
【インタビュー】	
学問の魅力、学生、生協への期待—トップインタビュー⑫—	
金井篤子男女共同参画室室長-----	4
【企画案内】	
マルセパン工場見学のご案内-----	24
初心・初級スキー教室&スキーツアーのご案内-----	24
名古屋大学平和憲章制定19周年記念企画・憲法講演会	
「今なぜ、憲法・教育基本法を変えるのか」-----	25
連続学習会・映像で学ぶ「日本国憲法」-----	25
【報告】	
組合員還元・交流企画報告-----	28
愛岐三山ハイキングとバーベキューの報告-----	19
第18回音としやべりの金曜サロン	
三味線やそすけライブ20人を魅了-----	22
「やそすけライブ」の感想-----	23
教職員委員会の活動日誌-----	21
【記事】	
新フィールドノート—その92—	
「たった一個のブナの殻斗から」-----	15
ニュースに一喝!	
「人間のやることではない」「一円で61万株」「やっぱり」-16	
魔言「位置づく」「だます」-----	18
かけはしの輪-----	26
アンケート・クイズ解答用紙-----	30
C O - O P Q U I Z <Logic>-----	31
名古屋大学平和憲章(1987.2.5制定)-----	裏表紙



「自分のやりたいことはやるべきだ」を語る
金井篤子男女共同参画室室長

表紙のことば
11月17日、教育学部内にある金井先生のお部屋を訪ねた。先生の部屋は男女共同参画室長と言うこともあって、今まで同室が企画してきた男女共同参画社会推進シンポジウムのポスターが所狭しと飾ってあった。女性の社会進出は目覚ましいものがあるが、昇進の問題となると単に女性職員が頑張ればよいといった考えでは何も進まない。それを正當に評価する上司がいなければ難しいと思われるかも知れない。それ以前に男性は女性よりも優っている。女性には家庭を守り、男性は家族のために働いている。といった考え方が男性社会の中に蔓延しているところに問題があるように思う。男女共同参画についても同じである。男性の協力無しにはあり得ないかも知れないが、まず男性側のそうした意識変革からスタートしなければならぬと私は思う。

(みのうら)

新年を迎えて

名古屋大学生協理事長

福家 俊朗

組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年の年頭の挨拶の中で、生協のあり方に影響する動きが一部に見受けられますと述べましたが、名古屋大学においても現実問題になろうとしています。福利厚生施設の充実に要する財源不足と「民間活力の導入」を理由として、改修費1800万円程度の負担による特定のコンビニの出店計画の扱いについて、



昨年末に施設整備担当理事名で構成員の意見を求めてきました。

たとえば、賞味期限のきた売れ残りの食べ物等の大量廃棄を伴う資源浪費の競争に加え、売上げの確保のためいずれば必要になる営業時間の延長や外部の消費者の時間帯を問わない大学構内への出入り自由が、治安や環境にもたらす影響は計りしれません。このような資源の浪費と環境破壊を外部不経済にしつつ、利益追求と利益の学外持ち出しを原理原則とする私企業が大学内にふさわしい存在かどうかの判断は、名古屋大学の「哲学」の問題になります。食育を全く無視したしつかり顔の「コンビニ（おにぎり？）文化論」や、一過性の利便性を針小棒大に説く出店賛成論も聞こえてきます。こ

れらは、いくらでも考えつく「より有害でない他の選びうる手段 (less harmful/unfriendly alternative)」さえも無視した無責任な意見といわねばなりません。また、出店を推奨しこれに関与する者は、生じる害悪や不便等（直近の例ではグリーンヒルクラブのように、赤字を理由にした一方的で無責任なサービス提供放棄もふくむ）について責任を負う覚悟があるのでしようか。当該施設のその他の有効利用方法（たとえば、名大生協が提案するキャリアサポートコーナーのような学生支援利用）を無視するなど、意見を求めるための情報提供も不公正で、無責任さが目につきます。

多数の構成員を組合員とする名大生協は、大学という高等教育と研究の場にふさわしい福利

厚生の実に務めてきました。

また、名大生協は、その成果を組合員に還元する方法として、第一理系食堂の改修および第二理系食堂改修の経費に充てるために、合計8000万円を名古屋大学に寄付することになりました。ほんらいは、大学が責任をもつて提供し手当すべきものであることは言うまでもありません。だからといって、サービス内容や提供方法についてはこれで良いということはありません。組合員の要求に誠実かつ総合的に応えて、経営の合理化・効率化を図りながら、サービスの向上に努めて行く所存です。

組合員の皆さんの出資と参加で成り立っている名大生協のさらなる発展のために、本年もご協力をお願いして新年の挨拶といたします。

学問の魅力、学生、生協への期待

—トップインタビュー ⑫—

かない あつこ

金井 篤子 男女共同参画室室長



(11月17日 教育発達科学研究科にて)

金井 篤子 (KANAI ATSUKO) 教授
大学院教育発達科学研究科
心理発達科学専攻 博士 (教育心理学)
名古屋大学男女共同参画室室長
男女共同参画担当総長補佐
【現在の専門分野】
キャリア心理学・職場のメンタルヘルス
【現在の研究課題】
職場におけるメンタルヘルスに関する研究
キャリア発達に関する研究
キャリア・ストレスに関する研究

加藤 まず、ご専門の研究に関わるお話をしていただき、ついで大学の変化に関わること、男女共同参画についてのお話をしたいいただき、さらに学生や院生など若い世代に伝えたいこと、そして生協にたいするご意見というような内容でお願いします。まずは先生のご専門のお話を、どんなことをされているのかということから……。

専門はキャリア心理学

金井 最近では男女共同参画室の活動が中心で、専門を忘れがちなんですけど、専門はキャリア心理学というものです。中でも組織の中で人がどのようにキャリアを伸ばしていくのかということが一番大きなテーマです。

自分は環境の中でいかに生きるかというように、高校時代から関心がありまして、まあ自分に関心があることでですね。心理学をやりたいと思って名古屋大学の教育学部に入り、そこで社会心理学に出会いました。環境と自分との関係というものに関心があった自分の疑問に答える学問はこれだと思ったんです。おおお！っていう感じですね。当時は教養部と言っていましたけど、社会心理学の長田雅喜先生—今、愛知学院大学に移られています—がいらっしゃって、その授業が印象的で

したね。それで集団の中での私とかいうようなことを卒論で扱ってここを卒業し、その後民間企業に入社しました。入社して、今度は組織の中で自分はどうかあればいいのかというところが自分のテーマになってきました。それなりに楽しく仕事をしていたんですが、このままでいいのかという不安とか、仕事も少しハードだったものですから、ちよつと疲れてきたり、いろいろなことがあつて……。一番大きかったのはこのまま自分のキャリア、そのときにキャリアと言ったかどうかちよつと記憶に無いのですが、このままの働き方でいいのかという疑問を持って、そういうことを学問的に理解したら、もう少し自分が楽になるんじゃないかと思ひまして、大学院に入学しました。

修士時代には、女性というキーワードで働く女性のキャリアストレス働く女性が自分のキャリアを伸ばそうとする場合にいろいろなストレスが生じてきていて、それをどう乗り越えていくのかとい

うことをテーマに修士論文を書きました。そういうことをいろいろ考えるうちに、これは女性だけの問題ではないだろうということになりまして、博士論文は組織内キャリアの視点から、組織内メンタルヘルスを考える、そんなタイトル博士論文を書きました。ストレスの研究とキャリア発達の問題とを総合的にみて論文を書いたというところです。

今大学では学部生向け、大学院生向けにキャリア心理学の授業をしています。学部生には、大学を卒業して自分の進路選択をしてそれからどう生きていくか、組織の中でどう生きていくか、社会の中でどう生きていくのかということをやイメージアップして頂けるような授業を心がけています。大学院の方はキャリアというものを研究対象にしようというメンバーです。でももう少しキャリアを客観化したような授業をしています。

組織といかに戦うかというようなことが、最近はまだ思いませませんが、大学に戻った直後の自分に

とっては大事なテーマでした。そうしたら入試の時に原岡一馬先生から、「君は社会に義憤を感じているんだねえ」と言われたことを今でも覚えていてます。私も若かったということですね。

男女共同参画とは

男女共同参画というのは男女共同参画社会基本法という法律に基づいて動いているのですが、私には男女雇用機会均等法のほうがなじみがあります。それに、私の所属は法学部ではなくて心理学専攻ですから、法律を詳しく知っているわけではなくて、そういった環境に置かれていて男性とか女性がどういふストレスを感じていて、どういふような対処をしたらそういふものを乗り越え、うまく自分なりのキャリアが展開できるのかといういふようなことに焦点を置いて研究しているという感じです。加藤 続けて大学の変化とか、男女共同参画についてお話し頂けますでしょうか。

キャリア心理学Ⅱ進路選択をしてどう生きていくか、組織・社会の中でどう生きていくか……

金井 平成11年に男女共同参画社会基本法が成立しました。成立と同時に施行されたというユニークな法律です。それを受けて各団体が、都道府県も含めて男女共同参画についての計画を立てなさいという事になったわけです。旧国大協も、12年の5月に男女共同参画基本法に基づいて計画と提言をまとめ、全国の大学に発表しました。それを受けて名古屋大学では、12年9月には検討委員会ができました。これは全国の大学の中でも一番早い動きだったと聞いています。検討委員会の下にワーキンググループが出来まして、13年の3月13日には「名古屋大学における男女共同参画を推進するための提言」が出て、これが単体の大学としてはもっとも早く宣言したということと評価されているものです。その中身は、13項目ありますが、項目の6を除いては国大協の提言と同じです。国大協が、大学にこういうことを求めると12項目の提言をしています。名古屋大学に提言はほぼそれと一緒にですが、提言の6の「女性職員の昇進の拡大について」という項目を入れているのが、名古屋大学の大きな特徴になっています。ここは当時の荒木総務部長さんや副総長

名古屋大学構成員の方々から遊離してしまつては意味がない。皆さんの意見を反映して……

だった山下興亜先生が尽力されてまとめられたと伺っています。

一方、名古屋大学では平成13年の10月に総長補佐制度がスタート



インタビューに答える金井篤子先生(右)。左から皆川、今井、加藤。(11月17日、金井先生の研究室)

しました。当時の松尾総長先生が、新しくスタートした総長補佐13人ぐらゐのメンバーのうちの一人を人権・男女共同参画担当総長補佐ということで担当を置かれまして。前々年ぐらゐに東京大学が男女共同参画担当総長補佐というものを置いていたそうですが、たつた13人の総長補佐の中にこれを置いたということが意味があつたのではないかと思います。

これに私の前任者が着任したわけですが、このときは「人権」についてはセクシャルハラスメントとか全学相談窓口を担当し、「男女共同参画」についてとともに、一人の人で担当していたということです。

その前任の総長補佐がやった仕事は大きく二つありまして、一つは名古屋大学の男女共同参画に関する第1回のシンポジウムをすることでした。シンポジウムを開催するにあたって、全学の部局長に男女共同参画に関するアンケートを取り、結果を集計してシンポジウムで発表しました。シ

ンポジウムはすでに第3回まで開催されました。

男女共同参画室の設置

もう一つの大きな仕事は、男女共同参画の中核となつて活動する機構―そのときはセンター化構想と呼ばれていました―を作ることです。いろいろな事情があつて「教育研究センター」ではなく「室」という形でつくられました。14年10月に私が「男女共同参画」だけ担当の総長補佐として着任しましたので、私が「男女共同参画室」の室長を担当することになり、現在、室長と担当総長補佐を兼任しています。

男女共同参画室の役割は、教育と研究、それから名古屋大学自身の男女共同参画を業務として進めるといふこの3本柱で成立しております。これは設置要項にそのように書いてあります。ですから全学の授業もさせていただいてますし、研究発表もさせていただいてますし、業務としての仕事も

させていただいています。

特徴として、毎年夏に部局長ヒアリングをさせて頂いていまして、これは非常に大きな機会になっていると思います。日頃忙しい部局長の先生方に男女共同参画についてご検討いただける本場に得難い機会だと思っています。

そのほかに今回の保育所の設置とか、介護窓口の設置とか、女子学生の支援策等々は全部アンケート結果に基づいて企画しています。こういう活動は、名古屋大学構成員の方々から遊離してしまつては意味がありませんので、できるだけ皆さんの意見を反映したいと考えています。ただ対象者全員にアンケートを配りますが、回収率は30%〜40%です。ですからこれで全員の意向を反映していると言つていいのか問題はありますが、通常はこういったアンケートは回収率が10%程度になつてしまふのが普通なので、そういう意味では構成員の皆さんの関心の高さを反映していると思っています。

名大の女性教員比率

ちなみに女性教員比率ですが、平成12年の国大協の提言が非常にセンセーショナルだったのは20

10年までに女性教員比率20%という目標を提示した点です。国大協の中でも議論になったと聞いていますが、一応そういう目標を提示し、批准したわけで、名古屋大学もそれを目標としてやっています。残念ながら現在8・5%（助手を含まない）です。2010年というところと5年しかありませんから、名古屋大学の女性教員比率は少しずつ増えてきていますが、このままの比率で増えていくと2010年には、助手を含んでも14・15%ぐらいです。

たぶん様々ないわゆるdiversityですね、いわゆる多様性とうものを実現していくのは非常に重要な事柄だと思います。これは男女ですけれど、ほかにも子育てしている人だとか、留学生の人だとか、様々な人種や年齢や家庭環境を超えて様々な方々が生き生きと研究・教育に従事できるという大学を目指していくということは、名古屋大学にとつて非常に意味がある事だと考えています。

男女共同参画では男女と言つて

いますが、男女を出発点として様々なdiversityを実現出来るような活動ができればいいなと思つています。

女性職員の昇進拡大

女性職員の昇進の拡大という問題は名古屋大学に特徴的な項目ですが、掛長クラスが平成14年度で14%しかなくて、主任さんが65%です。これはどういうことかと言いますと、主任まではそのままた年齢で上がっていくんですが、掛長さんになるときに何らかのセレクトがかかる、それでここに滞留しちゃうわけです。男性の方は上がっていくきますので、女性の方はここに滞留してしまう、それにしてもこの数字は大きいと思います。この提言はもともと総務部局から出てきた提案でして、その後引き続き歴代の総務部長さんも努力をしてくれていまして、女性掛長比率はそれなりに増えてきています。その結果主任滞留率がかなり減ってきているので、これは

活動の成果かなと思つています。

男女共同参画室は事務の管掌部局が人事労務課になつていて、そこを二体化して動いているんです。本当に様々なことをやらせて頂きましたが、人事労務課のご協力がなければ成り立たないことばかりで、そういう意味で本当に感謝しているところです。

もう一つ名古屋大学の特徴は「室」だということです。今までのような委員会組織ですと、提案してもことが動かないということがありました。「こうしよう」とは言うんですけど、「誰がやるの」ということがありました。名古屋大学では「室」ですから、実務的に事を動かしていこうということなんです。ただし15年の1月に出来たときは3人の教員が兼任で張り付き、人事労務から1人ついて頂いて、全部で4人体制でした。ですから出来ることに限界があり、重点項目を決めてやってきました。やりながらわかってきたことです。が、男女共同参画の仕事というの

は世の中の隅々までわたっているものですから、全部やろうと思うとパワーが足りず、出来るところから、やれそうなどころから確実にやろうということで重点項目システムを導入しました。

平成15年度の重点項目

平成15年度の重点項目は5つありまして、1番めは教育で授業をやるということ。教員の組織では教育は最も得意とすることですから、有志を募つて「ジェンダーを科学する」という教科書を作つて、翌年から全学教養科目の一コマを使って授業を開講するということ。これをこの年に企画しまして、実際に16年度からスタートしています。

2番目の研究活動の充実ということでは、高等研究院プロジェクトにチャレンジしまして、1年目はダメだったんですが、2年目に再チャレンジし、高等研究院プロジェクトに採択されまして現在活動中です。ジェンダーストレス研究ということですすめています。が、非常に面白い知見も出てきているので、シンポジウムか何かで報告させていただこうと考えております。

男女・人種・年齢・家庭環境を超えて、生き生きと研究・教育に従事できる大学を目指し…

3 番目の女子職員の昇進拡大は、人事労務課のご努力でだいぶ進んできているので、この調子で行ってくれるといいなと思っています。

4 番目は平成15年度の最初の年からテーマにあがっていた育児環境の整備と介護の両立支援ということです。男女共同参画のこのワーキングが発足したときからもうテーマとしてあり、アンケートを実施しておりますので、その結果をさらに進めるにはどうしたらいいかということが15年度の重点項目でした。

5 番目はまだ全国で愛知県だけですけれど、産学官連携フォーラムを立ち上げたらかどうかということです。産学官の連携と言いますと、理工系技術系のものが多いです。社会科学・人文科学系の連携フォーラムというのはあまり無いですね。なので、それは面白いし、実際に大学生が育つて産業界や官行政に出て行ったとき、その連携がなければ学生にとって違和感があるということもありまして、そういうことを考えたわけです。

まず、産学官の連携のフォーラム

平成15年度の重点

平成15年は頑張ったということで平成16年はこれらを受けて、育児環境の整備、産学官連携フォーラムの立ち上げ、大学内ネットワークの構築、苦情処理システムの検討、理工系とその他特に女性の少ない分野の女性の参画の推進―これは国大協の提言とミットした形で―その内、今年出来そうなものをピックアップしているという形です。

育児環境の整備ということでは、おかげさまで来春保育所が実現します。

産学官のフォーラムも、一年半以上かけて立ち上がりました。

女子学生を応援

理工系と特にその他女性の少ない分野への参画の推進も名古屋大学の目玉です。名古屋大学にいる学生さんにエンカレッジセミナーを開催するというのが一つ。女子学生さんを応援しようということですが、女子学生さんのほうはエンカレッジなんてされたくないわと思っただけかなと思ったりしましたが、それでもないらしく、こ



のエンカレッジセミナーの後で感想を聞くと、このまま工学部の大学院や理学部の大学院に進んでもいいのかなと思っていたけれど、自分のやりたいことを突き進んでいいんだということがわかったと。そういう感想が出てくるんですよ。この2005年の時代にです。私にとっては、自分のやりたいことはやるもんだと思ひこんでいたので、自分のやりたいことを、周りの関係などでやらな

いってことがある—特に大学の中でですね—ことを知って少し驚きました。でもそれだけ女性を取り巻く環境が、みんなはそういう風に思っていないのかもしれないけれど、難しいことを示していると思います。

そんなわけで、エンカレッジセミナーは重要だと思ったので、今年も1月に開催する予定になっています。せっかくだから宣伝させてもらってもいいですか？ 1月13日(金)13時からIB電子情報館2階の大講義室で開催します。ぜひいらしてください。

加藤 ちょうどこの「かけはし」が配られてすぐですね。

女子校へ行こう、PJ

金井 もう一つこれもユニークであちこちでうけています—別にうけをねらっているわけではありませんが、「女子高校へ行こうプロジェクト」というものを作りました。私の専門のほうでもキャリア教育の一貫として高校のほうからオフアアがあつて、名古屋大学さん説明に来てくださいという声がたくさんあります。理工系もこの地区の男子校や共学校にはたくさん行っています。一年に何十件も行っているんです。しかし、ふとでは女子校に行っていますかつて話になりますと、そういえばそのために女子校に行ったことはないなということになりまして、よし行こう、ということになって、「女子校へ行こうプロジェクト」というのを立ち上げました。この年は南山高校女子部と愛知淑徳高校にお邪魔しまして、これがすごく好

評だったんです。で、今年も南山と愛知淑徳高校に行きました。

この活動、工学部と理学部の先生と共同でやっていますが、そういう先生の中から共学校へ行つたときにも一言、女子生徒のみなさんも名大に来てねって言えばいいんじゃないかと、提案してくださつたので、じゃあ特に女子学生に呼びかけるコーナーを作ってくださいとお願ひしているところです。実際に、専門委員会の情文の神保先生が母校の津高校に行かれたときに、名古屋大学の説明と、女子学生も活躍していますというのをセットでやって頂きました。たぶん女子生徒だけの問題ではないと思いますが、大学で何が出るのかということがイメージできないうですね。私は教育学部ですから、私の同級生もいっぱい高校の先生をやっています。彼らに聞くと、数学とか理工系の得意な女子生徒が、自分で理工系に行きたいと言えどダメだとは言わないけれど、得意な女子生徒にわざわざこちらから工学部に言ったら、

とはよう言わないって言っていました。やはり進路担当の先生方の認識も、そのあたりのようです。

今の科学技術振興会の答申を見ると、これからは女性にどんどん研究者や技術者になつてもらいたいということなのです。今、工学部でも、女子学生さんが6%、7%しかいらつしやらない。でも、実数としては200人を超え、260人ほどいらつしやる。教育学部は8割近くが女子学生ですが、合わせて200数名です。ですからその辺を歩いて、女子学生さんをつかまえて、その人が工学部か教育学部か訊けば、実はほんの少しですが工学部である確率の方が高いということです。おもしろいでしょ。で、このことを2年生向けの授業でお話したら、工学部の男子生徒さんたちが、「え、女どこにいる?」って。失礼な、「ちゃんといるので探してください」って言いました。

一応16年度も、到達程度にいろいろ問題はあつかもしませんが、一応重点項目についてはやることはやつたと感じています。

17年度の活動計画

17年度の活動計画は、なんと

自分のやりたいことはやるもんだ。女性にどんどん研究者や技術者になつてもらいたい。

大学構成員のみなさんが思っている方向、期待とずれていては意味がない。ぜひご意見を

いっても大学内保育所の設置が具体的に動いたことです。やっぱ建物建てるのは大変ですね、もう本当に、思っても見ないことがいろいろ起こっています。とにかく来年4月にはオープンしたいということで、施設部、契約課、財務課、もちろん人事労務課、それから推進委員会のワーキンググループ、参画室メンバー、総出です。

学内に様々なネットワーク

その他には、ネットワーク構築というのをお話ししたんですが、最初に言ったジェンダー・ストレス研究のチームの他に、教科書作成のチームとか、ボジティブ・アクションの研究チームとか、介護相談窓口チーム、女子学生支援ワ



キングチームーこれがエンカレッジセミナーを開いたり女子校へ行ったりしていますーそれから保育所ワーキングというところで、これが今保育所の建設に当たっているということなんです。これらは専門委員の先生もいらつしやいます、口コミで、一緒に賛同してくれる人たちにご協力をいただきたい、かなり実質的な活動をして頂いているので、こういった大学のネットワークが、とても意味があると思っています。最後ですけど、全ての活動は社会に貢献して、社会にフィードバックして頂くことが重要だということ、シンポジウムは第1回を除いては全て公開でやっています。ホームページでは第1回も含めて全ての講演記録を掲載しております。

名古屋大学の男女共同参画には5つの特徴があると最初に申し上げましたが、このようなことを軸に、必要と思われる、あるいは出来ることからということと活動してきました。このように説明し

たとき、皆さんがどういう印象を持たれるのか、私たちもよくわからない。「なんだ、こんな程度なの？」って思われるのか、「よくがんばっているわね」って言うってただいいのか、そのところはよくわからないのですが、私たちの出来る精一杯のところをやっているというところです。こういった活動が名古屋大学構成員のみなさんの思っている方向とかご期待とかとずれているのでは何の意味もないですから、できるだけ目に見える形でやらせていただいて、フィードバックをいただいて、また新しい企画を結び付けて、ということをはかけてはいますので、何かご意見などがあればぜひ出していただければと思います。よろしくおねがいします。

来春開設される保育所

今井 保育所のお話がありました。東北大学など他の大学にも保育所がありますが、名古屋大学の場合、大学が運営されるわけですね？大学の運営というのは初めての形のような気がするんですが

金井 私たちもそういう風に思っていました、東北大学はこの10

月に「けやき保育所」というところをオープンされまして、当初、建物だけを建てて運営を外に委託し、大学はノータッチでやると伺っていたのですが、実際にオープンしたところ、どうも大学が関わっているみたいです。たぶん東北大学と名大は似たような運営形態になっていると思います。東北大学の場合はどうなっているのか、今度行くので聞いてみようと思っています。

北海道大学は札幌市の認可保育所になっているそうです。建物だけ建てて、経営は外の方にお願いするという形になっている。東京大学も建物だけ建て、そこにNPOの保育サークルが入られて、そこが東京都の認証保育所の資格を取られて経営しているという形ですね。ですから大学は運営には参加していない。

ただ、NPOの代表は大学の教員の方です、もちろん預ける方もみんな大学構成員ですけど。旧国立大学で男女共同参画の話題がでると、必ず東北大学と

名古屋大学の例が話題になります。東北大学には参画室という室はないのですけれども、推進委員会というところがかなり力を入れてやっておられます。今回この大学間連携を深めようということで東北大学が企画されまして、それで名古屋大学、東京大学、東北大学、愛教大、一橋大、それから早稲田大学などいくつかの大学が、仙台に集まってシンポジウムを開催されるということです。なので、私もその時に行つてけやき保育園を見せていただいて、参考にさせていただきますと思っています。

学生・院生への期待

加藤 少しフィールドは違うのですが、先生のこれまでを振り返りながら、特に学生とか大学院生とかそういう若い世代へ伝えていきたいこととか、もっとこういう風にしたらということが、特に研究の内容からいってもたくさんあるのではないかと思います。

ども。

金井 そうですね。さっきの話のつながりから言いますと、自分のやりたいことはやるべきなんです。しかし一方、就職相談に来られる方の中にはやりたいことがない方も多い。でも、やりたいことがなくても大丈夫というか、キャリア理論の中にそういう理論があります。『キャリア』というものはデザインするものではない、様々な偶然のチャンスを活かしていくことがキャリアだ」という言い方をする学者もいます。そういう意味からすると、やりたいことがないけれども、でもまず社会に参画することで、どこか一つ決めてみて、そこに入ってみて、そこで出会ったいろいろな体験を自分のものにして、自分はこういうことに向いているんだということを発見していくというプロセスもある。それもいいかなと思います。一方でやりたいことがもしあるのであれば、それはまた幸せなことなので、そのやりたいことをどういう風に実現していくかと

いうことを考えていただきたい。そういう時に例えば教員とか職員の方とか人生経験の豊富な周りの人を使って、どういう方法があるのか相談していただいて、自分なりのキャリア人生を構築していただきたいと常々思っています。

教育学部は3年生の時に第5実験というものがあります。1年生2年生では与えられた課題をやりますが、3年生4年生の連続で自分なりの関心を心理学というベースに乗せて追求していく第5実験——卒論という流れの授業です。自分で問題意識を持ってきてそれを心理学の方法論の上に乘せて自分の知りたいことを考察するというもの。そこでも基本的には自分たちの関心のあるものを形にしていこうということを基本的な考え方としているので、自分のやりたいこととか、自分がちょっとでも関心を持っている事柄は大事にしたいなと思います。

真似からスタートしてもいい

加藤 きっかけのつかみ方とか、こんなことしたらいいよ、ということはありませんか？

まず社会に参画、そこから自分発見もいい。やりたいことがあれば、実現の道筋を考えて。

まず周りを観察して、自分の手本になるような「メンターを探せ」と言っているんです。

金井 まずはやってみること。そして今は独自性ということを書いて自分らしくなければだめだという風に言いますが、世の中には先輩たちがいっぱいいるのですから、真似からスタートしてもいいのではないかと思います。あの人もいたにしたいと思える人を見つけて、その人がどういう仕事の仕方をしているのかとか、どういう風に想いを形にしているのかとかをじつと観察して、一人だけでなくいろいろな人を観察した中に自分らしさというものがその中から出てくるということもあると思っているので、ぜひまず周りを見ていただきたい。

「メンターを探せ」

二年前に寺田先生—キャリア教育の先生です—と共同で、全国の2000人くらいの高校生にキャリアに関してアンケートを取りました。自分がこういう人みたいになりたいと思う人、モデルになる人、あこがれの人はいます

か？ と聞いたら3分の1しかそういう対象を持っていない。やはりエジソンは偉い人だとわかっていて、モデルにはならないという感じなんだと思います。そういう意味では次世代育成の問題とも関連していると思いますが、少し上の世代との接点がないとか、周りを見てもそれを自分の中にモデルとして取り込むという作業がされていないとか、いろいろ考えられます。まず周りを見て、周りはどうやっているかということとをじつと観察してみることから始めたらどうかという気がしますね。そういう少し上の先輩とか、うんと上の先輩でもいいのですが、自分の手本になるような人のことを「メンター」といいまします。生協さんでもやってらっしゃいますか？ メンタリング制度っていうのは？

加藤 そういう名前ではやってないです。

金井 シスターブラザー制度という言い方もあります。アメリカでは1980年代に爆発的に流行り

ました。日本でも80年代90年代にブラザーシスター制度、それからメンタリング制度という形で、公式に「メンター」をつけてしまおうということがありました。公式にメンターをつける必要はなく、非公式でも構わなくて、この会社、あるいは学校に入って、あの校長先生みたいになりたいとかですね、5年くらい先輩のあの人がみたいに社会を教えられるようになりたいとか、そういう人を見つけたらいいのは、自分にとってすごく意味がある。私は授業で学生さんに、「ウォーリーを探せ」ではないですけど、「メンターを探せ」と言っているんです。

加藤 金井先生には生協の理事としてご協力いただいているんですが、生協の取り組みへのご意見をお願いします。

金井 一度理事会に参加させていただいて、非常に興味深いなと思いました。学生さんたちがすごく熱心に参加されて、学びの場になっているんですね。やっぱり職員の方々がいる意味メンターと

いうか助言者の役割をされておられるじゃないですか。非常に面白い、興味深い活動だと思います。またこの間は「コメント大賞」でも学生委員の方がすごくがんばってくれて、卒論とか授業の内容とかではなくて、他学部の学生さんと語り合う機会というのは今までなかったもので、非常に興味深い体験でした。熱心だし、考え方もすごくしっかりしている。

インターンシップ

生協には、去年教育学部のインターンシップを引き受けていただきました。教育学部は独自にインターンシップをやっていました、今年はお願ひできなくて残念でした。また来年お願ひします。実は今日、教育学部で今年のインターンシップの発表会をやっています。面白いですよ。学生の目の色が変わりますね。生の経験は。

今井 大学としてもインターンシップを受けておられますね。

金井 はい。本部のほうでね。

今井 インターンシップの関係では、いわゆる受ける側と受けられる側とのマッチング関係でももう少し工夫が必要なかなという気がしています。受けたという学生



なります。

生協理事会に参加して

金がインターンシップに行く前に、必ずしも希望がマッチング出来るとは限らないのだけれど、偶然のチャンスはどこにでも転がっているの、そういったものを見つけて行こう、今までと全然違う環境に飛び込んで、自分がどう動けるのかを見てみよう、という形のイメージアップを事前にやっています。そういう意味ではわりと効果が上がっているような気がします。

金井 ちゃんと接客もやられますね。

金井 そうですね。接客、Word、プレゼンも全部やってから行きます。全然関係ない部署に回された人とかいましたけど（笑）。

加藤 いま生協は、新学期の準備で、組合員の方にはもちろん、新しく名大に来られる方にアドバイザーをしたり情報提供をしたりということと同時にやっています。新しい生活スタイルをスタートする上で参考となる情報をどんな形でお伝えしたらよいか、そんなお話

をいただけると、今の時期参考になります。

が多い割にはそれに対応する我々の度量が中々出来ていない。いわゆる仕事としてやってもらったらいいのか、どう対応したらいいのかというのが非常に難しいですね。

金井 今日も受け入れ先の企業の方からも皆さん来ていただきました。その中のある方が発言されたのですが、今まで4年やってきて、これまでは単位がもらえるから来たとか、その時間やれと言わ

れたから来たという方が多かったです。しかし今年の学生さんは非常に熱心に取り組んでくれて、こちらもすごく刺激になり、コラレートみたいなのがあったと。もし本当にそういう学生さん、本当に来たいという人が来てくれるんだったら、もっといろいろな企画も考えられると思うとおっしゃっていたいただきました。ですから、行く学生によりま

すね。一応教育学部では、学生さ

チャンスはどこにでもある。違う環境に飛び込んで自分がどう動けるか見てこよう。

金井 先日の理事会に出させていだいたときに、「Me & dia」という新入生に配るのを見させていただき、よく出来てるなあと思っています。すごく感心しました。そういったような活動を目に見えるように――私が見てなかっただけの話かもしれないんですが――実際に理事会に入らせていただいて、こういうこともやってもらえるのかということに今出会った感じがありました。一生懸命活動しているのですが、構成員の方に見えていないところ、場所が少し辛い。たぶん活動そのものは非常に充実した活動をしていらつしやると思いますが、でもそれを伝えたい人に、どういう風に伝えていくかということが、私も自分で課題だと思っているの、そういうところで工夫が必要かなと思いました。

金井 私どももキャリアアサバート、キャリア支援という言葉をよく使っています。名古屋大学生協ではまだまだ不十分ですが、地方の国公立大学に行きますと、何とか講座というものを、大学と生協が共催したり、大学の後援で生協



いかと思っています。

大学と生協が連携して

が主催する、そんなものを生協がやり始めています。私学ではキャリアサポート、キャリア支援に熱心ですね。国公立大学ではまだこれから。いま名大生協でも、キャリアデバロップアドバイザー(CDA)の資格を取ろうとがんばっているんです。

それぞれの学生が、入学から卒業までの大学生活をどう過ごしたらいいか、一人ひとりが4年間のストーリーを描いたとき、それに関わる支援講座を開設したり、そういう商品・サービスを、大学とも連携しつつ生協が提供できない

たい。資格を取ることではなくて、それは一つの手段であって、自分が4年間をどう生きるのかというところを見据えた上で、そういうこともありますよという提案をしていきたい。世間でやっているなんとか講座っていうのは結構高く、何十万円という講座になっている。また、せっかく受講し始めた講座の、いわゆる落ちこぼれを作らないことも大事です。

今私たちは、そういう講師集団を作ろうとしているんですよ。生協のことを理解をし、学生のことを理解をし、いわゆる事業であるわけですけど、学生を考えるような講師集団を作り、それをずっと活用できればいいかなということを考えています。

加藤 あと、生協のお店はなかなか女性が使いにくいという話も聞くんですが、なかなかできてないなあということがあると思うんで、生協のお店や食堂に関わってのご意見があったら……。

金井 女性が使いにくいんですか？

加藤 食堂では分量が多すぎとか。今小さな盛りものを出したりはしてきたんですけど、やっぱり男性に目がいったつくりになっているんで。あまりそういうこと

は感じませんか？

金井 あまり感じたことありませんね。なんか小さくなっちゃったなとか思ったりしたことは何回もありました。(一同笑)

金井 食堂も購買もいつも利用させていただいています。私は「芋かりんとう」が一番おいしいと思っています。使わせていただいて、特に不満はないですね。すごく親切にもしていただいています。「こういうのいいですか？」って言ったら「北部から取り寄せます」とかすごく対応よくしていただいています。

食堂では、時々少し変わったものを出していたんだけどー食欲はないんだけど食べにいかなくちゃいけない時があつてーいつもとちよつと違うものがあると手が出しやすいということはありません。なので、大体なんとかフェアの時は必ず催し物を食べています。

今井・加藤・皆川・箕浦 長時間ありがとうございました。

(インタビューは11月17日、教育発達科学研究科にて。聞き手は名大生協II今井信彦、加藤 肇、皆川 清、箕浦昌之(写真)。文章と見出しの責任は「かけはし」編集委員会にあります)

新フィールド・ノート ―その92―

たった一個のブナの殻斗から

情報科学研究科 広木詔三

長い人生は、終わりに近づくほど短く感じられるものだ。これまでの仕事をまとめたいたのだが、残された時間は少ない。

この世の中で起こることはすべて必然的のようでもあるが、絶対的な必然というものは存在しないであろう。さまざまな偶然的な出来事に出会って、それにはそれなりの必然性がともなう。

今年の十月に、たった一個のブナの殻斗(かくと)をふと見つけた。穂高山麓の一面である。そこはブナの木が存在するとはついそ思ってもみなかった場所である。付近を探しまわっても、ブナの木は見つからなかった。

もしかすると、今年はブナの実が豊作なのかもしれない、と気づいた。今回は穂高山麓で、ミズナラのどんぐりを拾いに来たのだった。

拾っても拾っても拾いきれないほどたくさん落ちていた。

必要充分なだけミズナラのどんぐりを拾ったのち、

岩の上に腰をおろしてにぎりめしをほおばっていたときのことだ。ほんとうにたった一個のブナの殻斗を発見したのは。

予定を変更して、ワサビ平というところにあるブナ林を目指した。歩いて一時間半ほどかかる。心臓に負担をかけないようにゆつくり歩くから、時間は余計かかる。ブナの結実に関する研究は十七年かけてまとめて論文にし、今から十年前に終了している。おおよそ六年の周期で

ブナは大きな豊作年を迎えるという結論だった。しかし、その後六年を過ぎてブナの結実は少なかった。去年は、もうブナの結実の確認を諦めていた。今年も、ミズナラのどんぐりを拾ったらさっさと帰るつもりでいたのだ。ブナの結実が六年で大きな豊作を迎えるといっても、結実量にはそれなりの変動がある。今年は何十年に一度の大きな結実量のような。ブナの実が林道いっぱい落ちていた。

残念なことは、ブナ林に到着した時刻が遅く、ブナの実を十分に拾っている時間がないことだった。運悪く霧雨もようになり、傘をさしながらで思うように拾えない。

穂高に来るのは、もう今年が最後になるかと思っていたが、来年の春、ブナの実生を見る楽しみが出来た。

ブナの結実周期の要因についてはいろいろな説があり、まだ決着はついていない。多くの果実を生産しただけ、光合成でかせいだ養分を果実にまわし、その分翌年の葉にあてる養分が少なくなる。だから、葉の数を回復するのに長い年月がかかるという。ことは大いに有りうる。また、地域ごとに周期が異なるということ、何らかの気候要因が関わっている可能性も否定できない。しかし、それはまだ明らかにされていない。まだまだ分からないことばかりだ。

ニュースに二喝!!

「人間のやることではない」

これは、今、建築界を騒がせているマンション・ホテルの耐震強度偽造事件、これが発覚して直ぐの頃の報道での、ある一級建築士の発言だった。その頃は、まだ、この偽造に関わったあの「姉齒秀次建築士」一人だけが悪者にされていた。その事に関してのコメントである。まさに、まともな人間のやることではないと思った。その点に関してはまさに同感だった。

しかし、考えてみるまでもないが、そんな悪いことをするのは人間を置いて他にはない。自然界は弱肉強食の世界であるが、如何に強者であれ、弱者を

自分の生存に必要以上に痛めつけたりはしない。まして、計画的に騙したり、無関係なものにまで危害を加えることはしない。人間だからやるのだ。

自分のことだけを考え、更に、金を目当てに、実に悪辣としか言えない行為をするのは人間を置いて他にはないのである。人間以外の動物等に人間の言葉が分かったとしたら一斉に文句が出よう。そんなことはないから良いが、人間は実にくくでもないことをしでかすものである。これは「まともな人間がすることではない」と言い換えなければならぬ。

その後益々この被害は広がっている。こんな、耐震強度20%とか、30%のマンションを買わされた人は大変な災難。今、それをどう救済するかが論議されている。石原都知事が国の責任だというのにも一理ある。建築計画の確認をして許可しているのだから。しかし、その検査は民間がやっている。いい加減な検査をしている。姉齒建築士が国会の証人喚問で、直ぐバレルと思ったのにバレない、何も検査などしてないと思ったと言うのが真相かも知れない。お金を取って検査するのがそんなふうでは全く困ったものだ。建築会社も、経費節減ばかりを考えて

とんだ銭失いだ。同じマンション販売会社の売ったマンションに集中しているのを見ると、その販売会社の社長は格好の良いことを言っているが、怪しまれても仕方なからう。

今度の事件に関しては一杯ワルイ奴が居るようだ。姉齒さんが気の毒なように思えてくるから不思議だ。幸いまだ実際に事故は起きていない。しかし、耐震強度不足が分かった以上一刻も落ち着いてはおれない。被害者には災害並みの手当をして頂きたいが、単純な問題ではない。知恵を出し合い、ワルイ奴は懲らしめなければなるまい。

(田 2005・12・21記)

一円で 61万株

1株を61万円で売ろうとしたのを間違って61万株を1円で売るといふような誤発注があった。そのためにどれだけの損失がでるか分からないというので証券

界は混乱し平均株価もかなり下げたという。

私にはよく分からないのだが、こんなのは単純な間違いで、こんな取引が成り立つこと自体が

不思議なことである。ところが金融庁の大臣を始め証券界においてもこの取引自体に法的問題はないというのだ。こんなことは常識で考えればまさに公序良俗を紊乱する、そもそもあってはならないことだと思ふのだが、そうではないらしい。この辺がそもそも変ではないか。

第一、この株式自体、61万株も発行されていないと言う。とすれば架空の話だ。それでも、特殊な環境で起こったということ、例えば戦時下での取引が何かになぞらえて無い株券はしようがないから現金で決済するのだというこでけりがついたという。1株91万円とかで。それで、誤発注したところは400億円の損失だったという。1年分の利益以上が失われたという。逆に濡れ手で粟という連中が400億円も儲けたということだ。やっぱりこんなことはおかしい。

さすがに大臣も法的には問題はないものの外国の証券会社を含めて幾つかの証券会社がこの取引に参加していたことに對して「美しくない」と不快感を漏

らしていた。それで、そう言うところはその利益を吐き出して何か基金を作るという。あくまでその取引自体は正しかったと言ひ張る。何故この取引自体を無かったことにできないのか。

一方、誤発注した方は、間違ひに気づいて取り消そうとしたのがコンピュータシステムの不具合でその注文が取り消せなかったという、これも大変なことだ。この株取引での問題自体は、私に関係のないことだが、コンピュータはこんなとてもな

まさかと思つていたが、やっぱりそうだったのか。科学者の良心というものがどうなったのか。

今まで、この報道が間違ひていることを願つていた。しかし、今朝の新聞報道では「ES細胞論文は捏造」「ソウル大中間報告」「黄教授辞意」と大きく報じ

い間違ひを平気でしかす。人間が手作業でやっている時にこんなことは起こるはずもない。いつ何処でとんでもないことが起こるか分からないのが恐ろしい。戦争だって起こりかねない。漫画の世界には、こんなコンピュータが世界を支配するようになることがある。確か、オスカール・ワイルドの言葉だつたと思うが、「自然は芸術を模倣する」という。世の中は漫画を模倣しないで欲しい。

(田 2005・12・21記)

られた。何たることか。韓国人のノーベル賞の望みを大きく膨らませただけに罪は深い。韓国人の気持ちを逆撫でした捏造疑惑を最初に報道した新聞が非難されるほどだった。

このごろ、こんな「捏造」などという難しい漢字にお目に掛かることが多い。記憶に鮮明に

残っているのが旧石器時代の遺物捏造。この事件で日本の考古学会が震撼した。私は逆にそれだけ何回も何回も専門家を騙し果せるような「偽物」を持つていたのに変な感心をした。それに、最近では科学的な年代測定がかなりはつきりできるようになっているのに何故そんなイカサマがまかり通つたのか、大変不思議に思つた。そういうことに対する解答は私の知る限りでは得られなかった。

最近はやりの偽造・偽装・捏造、これらは飽くなき人間の欲望によるものだ。それでこそ人間の文明は発展してきた。しかし、そこには守るべき倫理があるが、それが置き去りにされている。永遠の発展も必要なのかも知れないが、一度立ち止まっても良いのではないか。特に、生命を左右するようなことまで踏み込むのであれば、十二分に人間としての倫理の問題を徹底的に疑問の無いようにしてからにして欲しいものだ。功名争いに躍起な偽物造りに命を預けたくはない。(田2005・12・24記)

やっぱり

位置づく

「ボルドーの近郊、モンテーニュのシャトーの南端にひなびた円塔が位置づいていて、その三階の書斎をわれわれは現在も訪れることができる。」(エッセイスト・モンテーニュの名言 荒木昭太郎「本こそ人生の旅路の最良の備品だ」『春秋2005・5』)

この文章を読んで、何となく落ち着かず、怪訝な感じを持たされた。「位置づく」という言葉に意味そのものは単純に「位置している」ということだが、この「位置づく」には筆者の思いが込められているように思った。しかし、この「位置づく」は適切ではないように思う。言ってみればそれだけのこと。しかし、やっぱり落ち着かない。

「息づく」という言葉がある。これには、ある動物、あるいは人物でも良いが、どこか、ひなびた、片隅に(にぎやかなところや中心地ではないけれども、仮にそういうところであっても、その中の目立たぬ所でなければいけない)にひっそりと息をしながら生きているというような

ニュアンスを感じる。
上記の文を読んだ時、咄嗟にこの言葉が連想された。それと

だます

今年は、もう柿のシーズンは終わりがけたが、出始めの頃に、このころは種なしの柿が出回るようになった。これを作り出した人は大変な当たりだったという。確かにおいしいし、食べやすい。しかし、それは人間様のご都合。

剥いていて、中に、まともな種になり損なったシイナのようなのが残っていることがある。以前から出回っている種なし西瓜というのでも白い柔らかいのがぼつぼつと入っている。そういう柿を剥いていて突然奇妙なことが頭に浮かんだ。この連中は人間に騙されたのだなあということだ。お年寄りが農作業をしやすくするために木の背丈を小

「位置する」という言葉がこの筆者の中でコンタミネートしたもののか。

ついでに「息巻く」というまさに正反對の言葉も思い浮かんだ。まさに、読書ということ、文を読むということには色々の効用や副作用があるものだ。(T)

さくして然もちゃんと実の付くようにと、根の張らないように小さな容器で柿の木を栽培しているのもあった。柿は騙されて、枯れる前に子孫を残そうと一生懸命実を付けるのだそうだ。

品種改良ということ自体は、突然変異などで自然にも起こることだろうが、最近の遺伝子操作ということを持ち出さなくても、人間のやることはちよつと度を超している。この不稔性の植物の種や実を作るのは全く人間の都合によるものだ。百合の花の花粉は衣服に付くと取れないので、花粉を取ってしまったにだって行っている。

鶏などそれがまだ出来ないのだらう。鶏は雄に生まれれば哀れなもの。また卵の内に雌にする技術、あるいは、卵の内に雄か雌かを見定める方法がないからだらう。生まれて一日も経たない内に生きる権利を奪われてしまう。素人には雄雌の見分けは難しいが、専門家は瞬時に見分け雄はゴミ箱行き。我々子供の頃、緑日での捨てられたヒヨコをその頃のお金だが、五円とか十円で買ったものだ。大抵直ぐ死んでしまったが、中には大きく育ったものもある。その中に、欠けた焼き物と引き換えに貰ったものもある。これだけでは、ちよつと何のことか分からないかも知れない。こういう事だ。子供の頃私は陶器の町に住んでいた。出来損ないはみんな割って捨ててしまう。でもその中に時々使える物もある。それを拾ってくるのだ。それを欲しがるとヒヨコ売りが居たのだ。話がそれだが、人間はあの手この手を使って自然界を自分の都合の良いように変えてきた。自然界がすんなりと受け入れてくれている内はいい。でも、このだましの手口いつかは人間に跳ね返ってくるのではと、妄想かも知れないが感じた。

(T)

愛岐三山ハイキングとバーベキュー

内津峠から弥勒山・道樹山へ

11月3日、愛知と岐阜の県境の尾根、弥勒（みろく）山、大谷山、道樹山の通称「愛岐三山」を歩くハイキングを行いました。約2時間30分のハイキングのあとには、岐阜県多治見市の「地球村」で、教職員委員会メンバーが準備したバーベキューをみんなで楽しみました。

11月3日は、過去に雨が降ったという記録が少ない「晴れの特異日」ですが、この日の天気予報は「曇り後雨」でした。10時30分、ハイキング出発地点の内



弥勒山登り口にて



弥勒山山頂にて

津（うつつ）峠で車を降りたときには明るい曇天。この分ではきつと夕方まで降られずにすむのでは、と期待しながら、弥勒山への登り口で、歩き始める前の元気な様子を写真に撮りました。ハイキングコースは、終始愛知と岐阜の県境で、足下には、愛知県が設置した県境を示す「標識」の杭がありました。秋の盛りでしたが常緑樹が多く、紅葉は、残念ながら小さなウルシ程度で

す。

それでもにぎやかなおしゃべりをしながらの30分で、11時には弥勒山（437m）の山頂に着き、登頂証明写真？を撮りました。頂上に設置された展望台には、ここから見える展望図があり、南に名古屋港、ナゴヤドーム、JRツインタワー、東に御在所岳、伊吹山、北東に白山、恵那山などが描かれ、それほど高くない山頂ですが、見通しのよい場所であることが伺えます。しかしこの日は残念ながら霞がかかったような曇天で、近くの高蔵寺ニュータウンや多治見市街などははっきり見えたものの、遠くの展望はイマイチでした。

グループでにぎわう狭い山頂で、私たちもおやつなどを広げて15分ほど休んだ後、2つめの大谷山に出発しました。

大谷山（425m）には20分ほどで到着。あまりのあっけなさに、写真を撮るのも忘れ、ここでは5分休んだだけで3つめの道樹山へ出発。

小さなピークを上ったり下り



道樹山山頂にて

たりしながら、大谷山から20分の12時、道樹山（429m）に到着。山頂には神社があり、周囲には檜があつて展望はダメでした。頂上の東海自然歩道の道標を囲んで証明写真を撮り、早々に最後の目標地、松峠からバーベキューの待つ地球村をめざして出発しました。

道樹山から松峠までは単調な下りでした。間伐材のような材木で階段状に道が整備されていました。まっすぐに長く延びた階段状のコースを上ってくる、



苦しそうな登山者とすれ違い、われわれは「下りでよかった」が、思わず口から出ました。

松峠に到着しハイキングコースから外れると、地球村へ向かう道は単調な舗装道路でした。それでも山里の佇まいを残した風景を楽しみました。

13時前、もう少しで地球村、というところまでくると小雨がぱらぱらと降ってきました。しかし降り続くことはなくすぐに止みました。

地球村では教職員委員会の2人が、サッカー場ほどの広場の真ん中で、バーベキューを食べられるばかりに用意して待って

いてくれました。

われわれはアルコールもOKでしたが、用意してくれた2人は、車の運転もありアルコールはおあずけです。2人に感謝しつつ、参加者はバーベキューを楽しみました。食べ過ぎて、せっかくハイキングで減らした体重

感想
弥勒山縦走（といわせて）
総合保険体育科学センター
鵜飼モト美

総合保険体育科学センター 鵜飼モト美

快晴ではなかったけど、歩いている間は、雨も降らずよかった。久しぶりに山歩き。家から本当に近くなのになかなか来ないけど、いい山だね。生協の企画は、私にとって一番。安い・参加しやすい・必ず食い物がある・思いがけない出会いがある。以上今回も中国の友人（向こうはどうかな？）ができた。工学部にいたとき学生さんで、バイトしてみえたから、名前は偶然知っていた。不思議な縁。だからこんな出会いはいかなかないから、私にとっては、とても良い企画ということ。

後ろも見ずに、「速いよ。」とい

も差し引きゼロだと言う人もいました。

十分食べたあと、まるでわれわれが食べ終わるのを待っていてくれたかのように雨が本降りになってしまいました。しかし、帰りの車の中なのでへいっっちゃらでした。

(文・柴田)

(文・柴田)

われたのは、毎日山の上まで通勤する訓練のたまものかな？本当はばてるかと心配してたのに、気持ちよく軽快に知らない草木の説明を入れながら歩き、弥勒山の山頂で小休憩。あいにくの曇りで多治見方面も山は見えなかった。

晴れてると、名古屋港の方や、ツインタワーが見えるし、恵那山や中央アルプスが見えると話をして、バーベキューが待っているので出発。大谷山からは明治村方面、いるか池が見えた。天気なら伊吹山？が見えてと説明してくれたが忘れた。導樹山でお参りして、(何の神様かわからな

いが）後は一気に下る。一路地球村へ。バーベキューが待ってる。

ところが、(山の中の階段がこんなにステキに見えたこと無い。)階段がある。いい階段としかいいようがない。でものほりはきついだろうな。下りで正解だね。生協の企画はいいねー。といながら、劉さんたちは写真をパチパチ。途中上ってくる70歳以上の方に出会った。「緑化センターの方に行くがまだあるかねー?」「まだあるけどー。気をつけて。」と一同見送ったが、最後まで心配したけど、新聞に乗らなかつたから良かったんだらう。

逆登山道まで降りた。地球村はもうすぐ。まあ、こんな近くに、里山風景があつて、古民家があつて、住みたいねー。とはなしながら歩いた。柿や・キウイ・クリが、あつて、いいな。廃屋がないだらうか。毎日だと不便かななんて勝手なことを言つて……。あるんだねこんなところ。がまだ。捨てたものじゃないな。でもすぐそばは、多治見の処分場なんだよね。複雑。バラバラと雨が来た。せつせとあるいてまだー？というところ



ろにグッドタイミング。箕浦さんが車でお迎え。
バーベキューが待ってた。鉄板が待ってた。せつせと焼いてせつせと食べて。こんなにたくさんといってたのが、びつくり。9人で全部食べちゃった。すごくうまかった。ビールも飲んでよう食べたね。大満足でお片づけというところで、あめが振ってきた。片づけもみんなで一気。洗剤を忘れて、少しもらってきて、何とか油も落とせて、片づけを管理人さんにチェックしてもらって終わり。ありがとうございました。残念ながら温泉はまたということで2班に分かれて帰宅。
予想以上に満足だった、今回の企画でした。お疲れさまでし

た。そしてありがとう。またよろしくお願いします。

来年も期待してます

今回の企画は大変良かったです。来年もこのようなハイキングとバーベキューを楽しみにしています。
(沈勤)

この会費でいいの？

ハイキングもバーベキューも良かったです。この会費でいいの？と思うくらいの内容で生協のメンバーに献身的(?)にサービスしていただき申し訳ないくらいでした。次回は行きたいと思いつながらなかなか一人では行けないので草毛湿原、足助、鳳来寺山方面も企画して下さい。
(S)

温泉入浴は入れてね

ハイキングコースとしてはちよつと物足りなかった。その場で温泉に入った方が疲れの回復が違うのでハイキングの後にはぜひ温泉を入れて下さい。この近辺の東海自然歩道を歩きたいです。今後ともよい企画を立ててくださるようお願いします。
(近藤延代)

教職員委員会活動日誌 (2005年11・12月)

月 日	事 項	場 所
11月 1日(火)	第10回名古屋大学・生協懇談会	グリーンサロン東山・会議室
3日(木)	愛岐三山ハイキングのバーベキュー	愛岐三山・地球村
7日(月)	11月度常任理事会	ゆ〜どん
10日(木)	映像で学ぶ「日本国憲法」Vol.5	工学部7号館輪講室
14日(月)	11月度第1回教職員委員会	IBカフェ
17日(木)	金井先生インタビュー	教育・金井研究室
19日-20日	全国理事会・全国教職員委員会	東京・杉並
21日(月)	11月度理事会	南部食堂ホール
23日(水)	みかんの産地見学	静岡県浜松市細江町
24日(木)	映像で学ぶ「日本国憲法」Vol.6	ゆ〜どん
26日(土)	東海地域センター理事会	東海会館
28日(月)	11月度第2回教職員委員会	IBカフェ
12月 2日(金)	音としゃべりの金曜サロン・三味線やそすけライブ	レストラン花の木
3日(土)	東海地域センター理事長・教職員理事会議	東海会館
5日(月)	12月度常任理事会	ゆ〜どん
6日-8日	組合員還元・交流企画	
	6日映画「ハウルの動く城」上映会	ゆ〜どん
	7日「赤ちょうちん」	ゆ〜どん
	8日映像で学ぶ「日本国憲法」Vol.7	ゆ〜どん
10日(土)	東海地域センター総会	東海会館
12日(月)	12月度第1回教職員委員会(忘年会)	炭焼 DINING わらじん
17日-18日	大学生協連全国総会	横浜・パシフィコ横浜
19日(月)	12月度理事会	フレンドリー南部
22日(木)	映像で学ぶ「日本国憲法」Vol.8	ゆ〜どん
26日(月)	12月度第2回教職員委員会	IBカフェ

三味線やそすけライフ20人を魅了

三味線やそすけといえば、反核音楽家やあいち九条の会に名を連ねているので、こうした方面でご存知のかたもいらっしゃるでしょう。伝統的な邦楽にあって、クラシック音楽、ジャズ、フラメンコ、人形劇など多彩なコラボレーションを確立し、世界各地でライブ活動を展開している、今が旬の芸術家の一人です。今回はやそすけさんを「音

としゃべりの金曜サロン」に招くことが出来たのは大きな喜びでした。

まず、初めて会ったときの印象は、何と言ってもダンディで気風のいい風貌。61歳という年齢からは想像できない、精神の若さを感じました。

今回のライブ演奏会は、第一部では三味線という楽器のルーツの発達についてレクチャーしてもらい、第二部でやそすけさんご自慢の代表的な演目をならべてもらおうという欲張った構成をおねがいしました。

第一部 三味線という楽器の伝来と発展の歴史

私たちはやそすけさんのコンサートを聴くまで、三味線という楽器を良く知りませんでした。沖縄の「さんしん」や津軽三味線は日本のポップ音楽に進出し、若者にもお茶の間にも届くようになりましたが、やそすけさんの専門である「ほそざおの三味

線」がテレビやラジオから流れることは少ないのではないのでしょうか。

琴や琵琶などの弦楽器、笙や竜笛などの管楽器、鉦・太鼓などの打楽器など、おなじみの邦楽器がシルクロードを経由した中国伝来であるのに対し、三味線は海洋ルートで伝来しました。このことは「やそすけライブ」で初めて聞いた人も多かったことでしょう。

やそすけは三味線の構造を説明しながらコマやバチを交換して調弦を自在に操り、三味線伝来を約1時間で実演してくれました。琉球の島歌、京都の「はんなり」、太宰の津軽三味線、江戸の祭囃子など、次々に繰り出される軽妙な解説と共に、夫々の地域や楽器の違いや特徴を分かりやすく聴かせてくれました。

第二部

お得意のレパートリーから3曲演奏していただきましたが、フラメンコと創作の2作品が印象にのこりました。

国際的なコラボレーションの



なかで生まれたフラメンコの音楽は、弦の数の多いギターとはちよつと趣の変わった・・・しかしラテンの情熱的でどこか哀歎の漂うメロディーは、まさにその前でフラメンコが踊られている情景を連想できました。

最後に演奏された創作は「虚空」という、緩急6楽章からなる三味線独奏曲で、演奏時間は15分あまり。本格的な現代クラシック音楽の一つです。

この曲は、三味線の音と音の間の響きを空間の広がりにもたてて多様な響きを創出し、そこ



にいろいろな心象風景を投影しようという作品のように感じました。

現代クラシック音楽では精神的な深みや空間的な広がりを実現するため様々な演奏方法が試みられています。生理的に聴きにくい音や和音がたくさんあつて難解でとつきにくいという印象をお持ちのかたも多いことでしょう。しかし、日本の古来の音楽、琵琶や鼓にはこうしたものを表現する方法が確立されており、三味線音楽にもそれが受け継がれています。つまり、三味線はこのようなことを表現するのにまさにうってつけの楽器ということです。西洋楽器を用いると難解な音楽になってしまう現代クラシック音楽も、三味線という楽器になった瞬間、水を得た魚のように自由闊達に流れていくのは、至極当然であるといえましょう。

金曜サロンで、現代クラシック音楽の精神的な高みのある演奏を聴くことが出来た・・・というのは、まさに快挙だったのではないでしょうか。

やそすけライブの感想(13人分)
企画を何で知りましたか

かけはし(8)、知人友人(6)

メール(1)、理事から(1)

参加の動機は

友人の誘い(7)、金サロ愛好家(4)
コンサート(1)、理事の誘い(1)
やそすけライブについて

よい(12)、無回答(1)

○大変勉強になりました。

○感動した。

○邦楽の歴史など、ほとんど知らなかったことがいろいろ分かった。三味線のことがよく分かった。

○三味線のことがよく分かった。とても楽しいふんいきで良かった。

○はじめて生の三味線を聞くことがとても良かったです。CDを聞くのが楽しみです。

○よかったですというかんたんすぎます。でも、こんな身近でうれしかったです。子供のときに聞いた歌やいろいろな少しずつ知っていると

あつて楽しかったです。とてもいい音で三味線はいいなと思いました。ありがとうございます。

○興味深いお話と演奏に酔いました。悪い環境の中、集中し

て演奏されるやそすけさんに申し訳ない想い以上に感動しました。ありがとうございます。

今日の料理について

大変美味(5)、よい(5)、普通(3)
◎歳なのでタンパク質の割合が多い。

○牛シャブだろうと思うがドレッシングが薄かった。

次回の希望は

クラシック(2)、ジャズ(5)、ボーカル(2)、その他(和楽器、尺八、なんでも)

金曜サロンに一言
○三味線を生で聞いたのははじめてで、やはり生は良い。最初(前半)のレクチャーはたいへん良かったが、時間がたつと忘れてしま。それぞれの曲ことの前口上がたいへん良かった。三味線と日本の将棋の由来が共通していると興味深かった。「くるわの一番最初」が一番良かった。「梅は咲いたか桜はまだか・・・」

○食堂の従業員の私語が聞こえて来てすごく気になった。

○食堂の人の声が気になりました。今後は考えてください。

○場所が悪かった。食堂の人の

声が聞こえて集中できなかった。次回は場所をよく考えてください。

○食事をする場所でのライブは演奏される方に失礼な気がし、聞いている方が気をつかってしまう状態でした。洗

い場の音、話し声、残念でした。ライブは最高でした。ありがとうございます。

○3年も名大から離れていて、金曜サロンの一ファンとしては、たいへん寂しい思いをしていましたが、久しぶりにと

ても良いライブを聴けてうれしかった。今後も続けて企画しててください。楽しみに待っています。

○ごころう様。楽しみに毎年参加しています。来年は停年前で最後になりそうですが、何か企画されるかな楽しみです。

教職員委員会へ

○いつもステキな企画ありがとうございます。来年も期待しています。

○ご苦勞様。頑張つてこれからもこのようなよい企画をお願いします。

マルセパン工場見学のご案内

マルセパンは昨年11月からIBカフェ、プランゾ、理系ショップでお目見えしているパンのメーカーです。マルセパンは岐阜県不破郡垂井町で40年地産地消・安全安心をキーワードに時代の流れ、ニーズにあった商品づくりを目指しています。添加物や保存料を使用しないことはもちろん地元の食材、オーガニック、国産の素材を積極的に使った安心安全なパンです。

各お店でマルセパンをご利用のみなさん、パン工場を見学し、パン職人さんと交流しながら、消費者の声と組合員のニーズを届けに行きましょう。

日 程：2006年3月11日（土）

行 き 先：岐阜県不破郡垂井町・マルセパン

集合場所：名古屋大学博物館西

集合時間：9時00分

参加申込は：E-mailまたはクイズ解答用紙で

問い合わせ先：

kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

参加費：無料

初心・初級

スキー教室&

スキーツアーのご案内

—冬だ！スキーだ！滑り隊！—

スキーをはじめたい人、お子さんにスキーを教えたい人、友達と楽しくスキーをしたい人大集合。親切丁寧なコーチ陣があなたを手とり足とり教えます。

日 程：2006年2月17日（金）夜発～19日（日）

行 き 先：岐阜県郡上市高鷲町のスキー場

集合場所：名古屋大学博物館西

集合時間：20時00分

参 加 費：15,000円

7,000円（小学生）

レンタル：板、靴、ウェアは実費

定 員：10名程度

宿 泊：貸別荘（食事は自炊します）

申し込みは：E-mailまたはクイズ解答用紙をご利用下さい

問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

企 画：名大生協教職員委員会



名古屋大学平和憲章制定19周年記念企画 憲法講演会

今なぜ、憲法・教育基本法を変えるのか

今、憲法9条を改定しようという動きが強まっています。このまま放置しておいたら、日本は取り返しの付かない状況に至ってしまうと危惧しています。憲法改正には様々な議論があると思いますが、日本国憲法の意味するもの、憲法を改定しようとする人たちの狙いを一緒に考えてみましょう。

日時：2006年2月2日（木）18:00～

場所：I B電子情報館中棟1階講義室（I Bカフェの横）

講師：本秀紀教授（法学研究科）

参加費：無料

○講演終了後、講師を交えて感想交流会を

I Bカフェにて行います。

交流会参加費用：500円

軽食と飲み物を取りながら

交流しましょう。

連続学習会
映像で学ぶ
「日本国憲法」

昨年9月から開催してきた連続学習会もあと4回となりました。あなたも一緒に憲法について学びましょう。

開催日時：第2・4木曜日18時～

会場：北部厚生会館2F「ゆ～どん」（予定）

第9回目（1月12日）

15 「内閣とは」（第5章 内閣）閣僚会議、事務次官会議、総理の指揮・監督、吉田・大平・中曽根・宮沢内閣解散、文民内閣、議院内閣制の本質・仕組み、審議会の問題、解散権の諸説、内閣の課題

16 「憲法の番人」（第6章 司法）平賀書簡問題、吹田黙祷事件、大津事件（戦前）、浦和充子事件、ローレンス・ロベタ訴訟、公害裁判、9条をめぐる訴訟、三審制、職権の独立、違憲審査制、最高裁判事の国民審査問題、最高裁違憲判決

第10回目（1月26日）

17 「国の予算など」（第7章 財政）消費税、予備費、国債、財政構造改革、国会中心財政主義、地方自治財政自主権問題、財政の破綻

18 「地方自治と分権」（第8章 地方自治）地方公共団体優先の原則、財政問題、ゴミ問題、狛江市の例、沖縄基地問題、もんじゅ事件、阪神大震災被害者救済、住民投票条例制定、機関委任事務問題、財源問題（利益誘導政治）、直接民主主義、情報公開

第11回目（2月9日）

20 「憲法と条約」（終章 最高法規・補足）在日外国人問題、強制労働在日朝鮮人、指紋押捺問題、世界人権宣言、締結国際条約、最高法規、憲法・条約・法律の順位、国際人権規約批准、人権内容の例示的列举、条約による広い人権規定、日本国憲法の将来

21 「世界の憲法」（憲法から見た人類の歩み）1. 二つの近代市民憲法の特徴～近代立憲主義型の市民憲法、外見的立憲主義型の市民憲法、近代市民憲法のもたらした陰とその克服 2. 現代市民憲法の特徴

第12回目（2月23日）

30 「世界の憲法の現状と未来」現在どのタイプの憲法のもとにおいても憲法政治はうまくいっていない～二つの大きな原因、現在の主要な課題：1. 近代の「陰」の克服、2. 戦争と軍備、3. 南北問題、4. 議会制民主主義の強化、5. 地方自治の強化、6. 人権保障の課題、7. 社会主義憲法の問題、現代は第三の転換点

11・12月号
の感想

授業アンケート疑問です？

★多くの大学で「授業アンケート」を行っているという実績」優
先で、その意味・内容についてであ
まり検討していないように思えま
す。そもそも回答がどの程度
実情を表しているかという検証
さえほとんどしていないような
ので、魔言の記事のようなこと
も起きるのでは。「シラバスを
読みましたか？」という質問に
「いえ」と答えておきながら「授
業はシラバス通りでしたか？」に
「はい」と答える者がいたり、「授
業にはあまり出席しなかった」と
いう者が「授業に満足した」と
答えていたり、どう考えても矛
盾している回答が多く見られる
中で、それを単純に集計したほ
ど意味を持つのか、すごく疑
問です。

【ナンバー6】

国連憲章は高い理想です

★国連憲章前文を何度も読み返しました。確かに高い理想ですが、現実をそれに一步でも近づきたいですね。

【JJJJ】

新しいお店がとても楽しみ

★初めて読んだのですが来春にオープンするお店がとても楽しみです。

【ふじさん】

理系と北部との住み分けは？

★理系ブックシヨップが来春オープンするそうですが、現北部ブックシヨップとの住み分けはどうなるのでしょうか？

【赤塚保雄】

▼北部と理系の2カ所で理工系の本を在庫するのは経営的にかなり困難と考えています。理系ブックショップが出来れば北部書籍部は閉店する方向で検討を進めています。

みんなが気軽に入れるお店に

★新しい理系シヨップ楽しみで
す。学生・院生・職員みんなが気
軽に入って楽しめるお店だとい
いですね。【まるまる】

お店たのしみです

【高羽理光】

生協を活用していきたい

★在学6年目ですが、今回初めて「かけはし」の存在を知りました。感想としては、第1理系施設との建設やさまざまな企画に関する生協の取り組み等、知らないことがほとんどでした。今回のかけはしを読んで生協の取り組みや方針を身近に感じるようになったとともに、今後、より生協を活用していきたいと感じました。

第一理系情報おもしろかった

★新しい第一系施設に関しての情報が載っていたので大変おもしろかったです。また、インドネシアの交通事情についても大変興味深かったです。

路上駐車が悪さは日本一

★インドネシアだけでなく日本の交通事情もひどいものです。特に名古屋の路上駐車悪さは日本一では？

【えすばあ】

インドネシアの交通事情に

★インドネシアの交通事情を読んで、タイに行った時のことを思い出しました。タイは信号もそれなりにあり、記事に書いてあるほどバイクが沢山走っているというわけではありませんでしたが、それでも車が止まるのを待つていたらわたれないという歩道はいくつかありました。地元の人と一緒に渡ってなんとか切り抜けましたが日本の交通ルールに慣れてしまっているため、信号のない広い道路を渡るのは勇気が必要だったことを思い出しました。

【JK1】

堂さんは何のために？

★『インドネシアの交通事情』の記事は、確かにタイトルの通りの内容でしたが、書かれた毓堂さんが、何のためにインドネシアへ訪問されたのが非常に気になりました。【だるまおとし】

初めて読みました

★はじめてよみましたけどとてもたのしかったです。

旅行している気分になれた

★インドネシアの交通事情が面白かった。テレビ等の映像で見るのとはまた違った視点で、実際に旅行している気分になった。

【りらつくま】

いろんな人の投稿がふえた

★今回はベースがつかめるまでちよつとてこずった。あとろんな人の投稿が読めてふえた。

【比嘉直人】

クイズいい問題でした

★今回のクイズは分かり易そうで難しい問題でした。あえて後で見たんですが、ヒントからは意外と思いつかないものですね。

【光安皓】

意見と

通信

院生の生活・研究が知りたい

★院生に関する情報が少ないと感じました。同年代の院生が生活や研究で感じた点について知りたいと思います。

【カサンドラ】

日本語の意味の特集を

★最近テレビなどでもよく見ますが間違つた日本語の使い方や勘違いされている日本語の意味の特集を見ます。私もそれらを見て間違つて覚えていいると思うことがよくあります。そのような特集をかけはしても記事やクイズにしてみたいと思います。また、アンケートの回答を(Web)から送信しようと何度か試みましたが、どうしてもエラーが出てしまいます。アンケートの回答欄に空白は作らずに記入しているのですが他にも何か原因があるのなら教えてください。いただきますと思いました。

【JK】

Web送信できませんでした

★COOPクイズの応募、アンケート回答用のページで、「送信」ボタンを押すと、エラーが出て、送信できません。前回(261号)のときからそうですので、クイズの応募者が少なかったのはそのためと思われます。

【ナンバー6】

▼ご迷惑をおかけしました。システムのバージョンアップとサーバ機の変更といった作業の際にWebでの回答機能が停止していました。投稿者の誰かがメールで知らせていたのですぐ対応して復旧させていたのですが中にはあきらめた方もいたのだしうね。お詫びいたします。

【かけはし編集部】

研究科長インタビューを

★研究科長のインタビューをぜひまた載せて欲しい。

【だるまおとし】

▼スケジュールの関係などにより毎号毎号とは行きませんがこれからも続けていきますのでよろしく願っています。

【かけはし編集部】

もっと多くの人の目に

★今回、この『かけはし』という冊子を初めて読ませていただきました。理力フェに置いてあるのを見たことがあります。せつかくの冊子なのでもっと多くの人の目に触れる機会が増えるといいのではないかと思います。

【宇野有美子】

第1理系完成が楽しみ

★第1理系施設の完成が楽しみです。記事でした。

【りらつくま】

カフェでくつろぎながら

★新しくできる書店に期待しています。カフェでくつろぎながら本を読めたらいいですね。

【えすばあ】

改築中の理系食堂について

【JJJ】

奥村さんについて

【高羽理光】

クイズの特集を

★クイズの特集などをしてほしいです。

【ふじさん】

VODの時代を待つて

★放送と通信は異質なものとという問いがある。数年の内にVOD(ビデオオンデマンド)によって見たい時に見たい番組が見られる時代になることは間違いない。こうなつた時に、放送電波を独占しているTV局の優位性は低下する。優れたコンテンツを多く有する企業が優位になるであろう。こう思つて私はハードディスクビデオの購入を見送っている。

【赤塚保雄】

組合員還元・交流企画報告

映画上映会

「ハウルの動く城」に32名参加

12月6日、北部厚生会館2F「ゆ〜どん」にて18時から開催。宮崎アニメということもあって劇場で見れなかった人やもう一度見たくてという学生を中心に多くの参加がありました。

赤ちようちん

12月7日(水)午後5時30分開店の赤ちようちんを「ゆ〜どん」で開催。参加者は20名と過去最低の参加でした。チケット販売が進まなかったことが大きく影響しました。赤ちようちんも冬のまつりの定番となって来たと思っていたのですが、宣伝不足は否めなかったです。でも、参加した方は和気あいあいと楽しんでいただきました。赤ちようちんの収益3000円はパキスタン地震救援義捐金として募金しました。

Fエース産直リングは25箱販売

めいきん生協と産消提携している長野県下伊那郡松川町の省農薬Fエースリングも毎年好評で、今年は箱売りのみですがメールなどで注文を取り25箱を販売し、販売利益1万円をユニセフを通してパキスタン地震救援義捐金に募金いたしました。

映像で学ぶ「日本国憲法」

12月8日(木)午後6時からゆ〜どんにおいて第7回目の連続学習会として開催しました。今、憲法が危ないと言われる中ではありますが名古屋大学の学生には感心がないようで大きな音に耳は傾けても入場までには至りませんでした。引き続き2月までは第2・4木曜日に開催していますので興味のある方は一緒に勉強いたしましょう。

映画「ハウルの動く城」参加者の感想(11人分)

- (1) 企画をなんで知りましたか
ボスター(6)、知人友人(4)、
ピラ(1)
- (2) 参加の動機は
作品に惹かれて(6)、映画好き
(3)、友人の誘い(2)
- (3) 作品について
○ストーリー性は少し難しい。
わかりづらかったなあ。けど
建物とかいろんな小物はかわ
いくてワクワクした♪
- (へいぼー)
- はじめてみましたがおもしろ
かったです。(ケンタ)
- 映画館でも見て、今回が2回
目だけど未だによくわからな
い。また見てみたい。(きと)
- 見れて良かったです。
- (応用物理)
- 話の展開がいまいち分からな
かった。映像はジブリらしく
相変わらずなめらかですご
かった。(猿一)
- 今までのジブリ作品の中では
一番メルヘンチックでした。
(T・S)
- おもしろかった！(サトシ)
- 作品はともよかったです！
でも・・・ちよつとせきが不便
で・・・(チャンソソフア)
- おもしろいでした。(Maria)
- (4) 次回みたい作品
○千と千尋の神隠し(へいぼー)
- Mr.インクレディブル
(応用物理)
- せっかくスクリーンでやるの
だからアクション系がいいで
す。今見たいのはアクション
とは言えないかも知れないが
「ステルス」です。(猿一)
- 他にもジブリ作品を・・・
- (T・S)
- コンサトもみたい。(サトシ)
- 小津安二郎の映画
(ADAM Eliane)
- 千と千尋の神隠し(Maria)
- (5) 教職員委員会に一言
○どうもありがとうございました
た！本当にいい時間でした
こういう業行がいっぱいあっ
たらいいなあ〜！
(チャンソソフア)

名大生協



「かけはし」編集委員会行

出 折 り

○氏 名 _____ 組合員証番号 _____

○所 属 _____ 研究科
学部 _____ 専攻・課
センター _____ 学科・掛（教職員・院生）

○連絡先 _____ 内線 _____

○誌上匿名希望の方はペンネーム _____

出 折 り

- ①平和憲章制定 19 周年記念「憲法講演会」【2月2日（木）】
- ②スキー教室&スキーツアー【2月17（金）夜発-19日（日）】
- ③マルセパン工場見学【3月11日（土）】

参加申込用紙

番号	氏 名	所 属	内 線	年 齢	組合員証番号

②③の参加は保険の関係で年齢が必要ですので必ずご記入ください。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 263 号

クイズのこたえ _____

☆今月号を讀
んでの感想

☆記事にしてほしいこと。生協への
ご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をのれなく記入してください。

名古屋大学平和憲章 (1987.2.5制定)

わが国は、軍国主義とファシズムによる侵略戦争への反省と、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害をはじめとする悲惨な体験から、戦争と戦力を放棄し、平和のうちに生存する権利を確認して、日本国憲法を制定した。

わが国の大学は、過去の侵略戦争において、戦争を科学的な見地から批判し続けることができなかった。むしろ大学は、戦争を肯定する学問を生みだし、軍事技術の開発にも深くかかわり、さらに、多くの学生を戦場に送りだした。こうした過去への反省から、戦後、大学は、「真理と平和を希求する人間の育成」を教育の基本とし、戦争遂行に加担するといふあやまちを二度とくりかえさない決意をかためてきた。

しかし、今日、核軍拡競争は際限なく続けられ、核戦争の危険性が一層高まり、その結果、人類は共滅の危機を迎えている。核兵器をはじめとする非人道的兵器のすみやかな廃絶と全般的な軍縮の推進は、人類共通の課題である。

加えて、節度を欠いた生産活動によって資源が浪費され、地球的規模での環境破壊や資源の涸渇が問題となっている。しかも、この地球上において、いまなお多くの人が深刻な飢餓と貧困にさらされており、地域的および社会的な不平等も拡大している。「物質的な豊かさ」をそなえるようになったわが国でも、その反面の「心の貧しさ」に深い自戒と反省がせまられている。戦争のない、物質的にも精神的にも豊かで平和な社会の建設が、切に求められている。

今、人類がみずからの生み出したものによって絶滅するかもしれないという危機的状況に直面して、われわれ大学人は、過去への反省をもふまえて、いったい何をなすべきか、何をしうるか、鋭く問われている。

大学は、政治的権力や世俗的権威から独立して、人類の立場において学問に専心し、人間の精神と英知をになうことによってこそ、最高の学府をもってみずからを任じることができよう。人間を生かし、その未来をひらく可能性が、人間の精神と英知に求められるとすれば、大学は、平和の創造の場として、また人類の未来をきりひろく場として、その任務をすすんで負わなければならない。

われわれは、世界の平和と人類の福祉を志向する学問研究に従い、主体的に学び、平和な社会の建設に貢献する有能な働き手となることをめざす。

名古屋大学は、自由闊達で清新な学風、大学の管理運営への全構成員の自覚的参加と自治、各学問分野の協力と調和ある発展への志向という誇るべき伝統を築いてきた。このようなすぐれた伝統を継承し、発展させるとともに、大学の社会的責任を深く自覚し、平和の創造に貢献する大学をめざして、ここに名古屋大学平和憲章を全構成員の名において制定する。(前文より)

名古屋大学消費生活協同組合

☎ <052> 781-1111 (内線7540)

- 書籍(和書・洋書・雑誌)に関するご相談は ●旅行(国内・海外)・宿泊に関するご相談は
北部書籍(内線7544) 南部書籍(内線7551) 北部旅行・サービスセンター(内線7543)
医学部書籍(内線5208)大幸書籍(内線5552) 南部旅行・サービスセンター(内線7550)
- 文具・事務用品に関するご相談は 医学部旅行・サービスセンター(内線5213)
北部購買(内線7542) 南部購買(内線7549) ●印刷とネットワークに関するご相談は
医学部購買(内線5209)大幸購買(内線5552) 印刷・情報サービス部(内線7552)
農学部購買(内線7557) ●パーティー料理・弁当に関するご相談は
●レストラン「花の木」(内線7605) 弁当部(内線7553) 理系食堂(内線7555)